

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。
- 2 招集について

競技者は必ず、招集所（第2ゲート、1500mスタート地点スタンド下）でコールを済ませた後、招集所で待機すること。コールに遅れたものは欠場とみなし、競技に出場できない。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始40分前

※ ただし、コンバインドA、Bにおいては、2種目目（走高跳、ジャベリックボール投）は、競技開始40分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。

- 3 トラック競技は次の要領で行う。
 - (1) スタート合図は、英語とする。
 - (2) 同じ競技者が2回不正スタートをした場合にその競技者を失格とするが、オープンとして走らせる。また、トラック競技におけるスタート時の発声を禁止する。
 - (3) スタート方法は、クラウチングスタートとする。
 - (4) リレー競技は、リレーオーダー用紙を競技者係から受け取り、リレーに登録している選手の中から男女各2名を選び、当該種目招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。
 - (5) リレーの走順は自由である。
 - (6) リレー競技におけるテイクオーバーゾーンの距離は30mである。テイクオーバーゾーンの中からスタートしなければならない。
 - (7) リレー競技に出場する選手のユニフォームは、原則としてチーム全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
 - (8) 80mハードルは、高さ70cm、台数9台で、インターバル等は次の規定にて実施する。

スタートから第1ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
13m	7m	11m

- (9) 5・6年1000mは、タイムレースで予選を行い、上位8名で決勝を行う。8位が1000分の1秒まで計測して同着で複数名おり、決勝進出者が9名を超える場合は、抽選により決勝進出者を決定する。また、決勝で1位が1000分の1秒まで計測して同着の場合は、抽選により全国大会出場者を決定する。

(10) 4年100mは、タイムレース決勝で行う。

4 フィールド競技は次の要領で行う。

(1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。

(2) 走高跳のバーの上げ方は下表のとおりとし、2回続けて失敗した時点で終了とする。

区分	練習	試 技			
男女	1m00	1m05	1m10	1m15	以降3cm刻みで上げる

(3) 走幅跳とジャベリックボール投は2回の試技とする。

(4) 走幅跳は、2ピットで実施する。

(5) ジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベボールを使用する。試技は、やり投ピットを使用し、助走距離15m以内で、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げること。

5 コンバインド競技は次の要領で行う。

(1) 各種目の得点は、『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2022年度改訂）』による。

(2) 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

(3) スタートまたは試技を行い、途中棄権、記録無し、失格の場合は、0点とする。

(4) 最初の種目で欠場した競技者は、2種目目には出場できない。

(5) 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権、記録無し、失格の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。

(6) 2種目の合計得点で順位を決定する。同得点の場合は、同順位とする。1位が同点の場合は、抽選により全国大会出場者を決定する。

6 競技者の競技場への入退場は、競技役員の手配による。

7 各種目1位から6位までに賞状を、5、6年100m、コンバインドA、B、混合4×100mリレーの1位から3位までにメダルを授与する。

8 競技場内へは当該競技者及び当該競技役員以外立ち入ることはできない。

ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。